



上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



THE MAGIC OF ROTARY



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3052回 例会

2025. 3. 13

会長あいさつ

週報 No.2284

発行 2025年 3月 27日

2024-2025年度
 会長 門崎 由幸
 幹事 齋藤 哲雄
 副会長 坂本 忠光
 副幹事 大木 崇寛
 編集責任者・公共イメージ向上委員会
 委員長 丹井 亮一

ゲスト
 上尾市管工事業協同組合
 事務局長 内田正良様

- 行事予定
- 4月3日 卓話 上尾市環境経済部 藤田 悟部長 「ゼロカーボンの取組について」
 - 4月10日 日帰り親睦旅行 富岡製糸場へ
 - 4月17日 社会奉仕事業 献血
 - 4月24日 卓話 深澤圭司会員 「八潮陥没事故対応について」

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。先週の例会も上下水道部よりお越しいただいた卓話でした。安心安全に水を供給するために様々な工程を行い、各家庭に水を送っている内容でありました。そして本日の例会内容も「水と衛生水間」として、上尾市管工事業協同組合の内田局長にお越しいただきました。上下水道部としては管理を主としていて、管工事業協同組合は実質的に漏水修繕や、8年に1回交換しなければならぬ水道メーター交換を行っています。私も昨年度まで代表理事を務めさせていただきました。後ほど自己紹介を含め、上尾市管工事業協同組合の成り立ちや歴史、事業内容を卓話いただければと思いますのでよろしくお願いたします。

さて先週の例会後の報告からさせていただきます。3月8日(土)は大宮ソニックシティ市民ホールにて、ロータリークラブセントラルセミナーが13時半より開催されました。私と坂本副会長で出席予定でしたが、私の母校の卒業式前の同窓会入会式が8日正午からで、私はそちらに出席し、時間が押しすぎてしまいセミナーに出席できませんでした。大変申し訳ありません。坂本副会長のみ出席となりましたが、当日の内容について今年度やるべきMy Rotaryへの入力は私が責任をもって行わせていただきます。

3月10日(月)は私事ですが、母校・花咲徳栄高校の卒業式に来賓として出席しました。ジャイアンツ1位指名の石塚君もおりまして、報道が大勢来ていました。その後の謝恩会では加須市長や多くの来賓がいる中、急な指名で乾杯の発声をやらされました。10年以上、同窓会会長を務めているので、組織を若返らせる意味でも、そろそろ交代の時期かなと思っています。同窓会の後、会社で少し仕事をした後、第5グループの会長幹事に齋藤幹事に出席してきました。

3月11日(火)には地区チームランニングセミナーがあり、出席した樋口会員から当クラブLINEグループにあったようにご報告いただきました。出席された会員の皆さま、お疲れ様でした。ありがとうございます。報告は以上です。

さて1945年3月10日は東京大空襲があり、今年は80年を迎えました。東京都墨田区では多くの遺族が参列するなか慰霊の法要が行われまし



ROTARY CLUB OF AGEO

た。およそ10万人が犠牲となり、東京大空襲の被害の記憶を次世代にどう伝えていくかが課題の一つであると感じています。

それと姉妹クラブ台南東北ロータリークラブがある台南市は、2014年に、3月13日を「正義と勇気の記念日」に制定しました。これは1947年の228事件の最中に台南市で公開処刑された弁護士・湯徳章(とう・とくしょう=日本名 坂井徳章)氏は台湾の民主主義のために犠牲となり、多くの若者や学生を守りました。あらゆる資料を処分して、一人でその責任を負い、命をかけて台湾を守ったという勇気を称えて制定されたとのことでした。本日3月13日がたまたま例会であったことから、この制定を知りました。姉妹クラブとして、しっかりと勉強しておかなければならないと感じています。また交流できる機会があると思いますので、その際に話題として話してみたいと思います。まだまだ勉強が足りないことを反省しまして、会長あいさついたします。本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

齋藤 哲雄 幹事

- ◇3月16日は62回目の当クラブの創立記念日になっています。
- ◇来週3月20日は定款の規定により休会です。
- ◇4月16日(水)、当地区の会長会議が行われる予定です。
- ◇大船渡の大規模山林火災による被害の支援についてお願がきています。こちらは本日の理事会で協議させていただきます。



例会主題

命をつなぐ水道は、私たちが守ります

上尾市管工事業協同組合 事務局長 内田正良様

本日はお招きいただきありがとうございます。はじめに自己紹介をさせていただきます。私は昭和50年に上尾市役所に入所しました。配属は下水道課でした。入所した年の11月に上尾市で初めて公



共下水道が使えるようになりました。当時の私は学校を卒業したばかりでドブと公共下水道の違いがわかりませんでした。入所してから先輩方に聞いたり本を読んで勉強して、浄化槽を経由しないで、家庭の排泄物が道路の下に埋まっている土管を流れて、大きな処理場に行き、そこで微生物の力を借りて汚れた水をきれいにして川へ放流する事業と認識しました。公共下水道が使えるようになったと言いつても、はじめは市街地から郊外はしばらく経ってからです。当時の上尾市は原市、尾山台、西上尾第一・第二といった大きな団地ができて入居が始まりました。地区で言うと、浅間台、春日、井戸木などの区画整理が始まり、それまで農地や林だったところが、どんどん道路や家になってきました。それに伴って上尾市の人口が急に増えました。市の責務として、子供たちの保育所や小学校を作らなければならないし、道路や上下水道の整備が急務になり予算も増え、仕事をやってもやっても終わらないという時代でした。当時はバブルと重なった時期もあり、仕事が終わると私たち公務員はホッピーを飲んでいました。また昭和49年から昭和59年の11年間、上尾高校が甲子園に6回出場し、上尾の名を全国に知らしめてくれた時代でした。そんな時代背景の下、私は平成10年3月までの23年間、下水道や道路の整備をする部署で働き、主に設計・現場監督、住民への対応を経験しました。その後、まちづくりやスポーツ行政、環境行政に携わり、終盤は選挙管理事務局長や都市整備部長を務めました。定年を迎えてからも市の再任用職員として原市民館の館長として2年間務めました。市役所勤めでは困難な局面が立ちはだかることがたくさんあり、そんな時私はこの局面は誰のため?と自問自答し、辿りつく答えは「市民のため」でした。市民のクレームなどに、なんとかしようと懸命に取り組んだ結果、市民からも理解が得られ、大過なくよい人生が送れたと思っています。そしてご縁をいただき、平成31年4月(令和元年)、今いる上尾市管工事業協同組合の事務局長に就任し、日々業務に励んでいるところです。

前置きが長くなりましたが、上尾市管工事業協同組合の概要をお話しさせていただきます。当組合は、上尾市内の管工事業、いわゆる上下水道の指定工事を営む27社の社長さん方で構成されています。所在地は東町です。門崎会長さんにおかれましては、令和2年5月から令和6年5月まで4年間、当組合の



ROTARY CLUB OF AGEO

代表理事を務めていただきました。本当にご尽力いただきありがとうございます。なによりも門崎代表理事のすごかったところは、管工事の社長さんの集まりで、さまざま意見があるのを1つ1つ聞いて社長さん厚い信頼が寄せられていたところ。あらためて御礼を申し上げます。

ところで私たちは水道の蛇口をひねると当たり前のように水がでてきて、そのことに特に意識をしたことはないと思われま。いつ頃からこんなに便利な世の中になったか、昔の資料を紐解いてみると、上尾市の水道は今からちょうど60年前、昭和39年10月15日に給水戸数722、水道普及率が人口比で5.6%の市民のご家庭で、蛇口をひねると水がでてくるようになりました。60年前には東海道新幹線がちょうど開通し、東京オリンピックが開催された年です。で、「水道っていつから?」「東京オリンピックの年からだよ」というのが昔の合言葉でした。60年前、上尾市の人口はようやく5万人になった頃でした。今年3月、上尾市の人口は22万9957人で、60年前から4.6倍ほど増えていることになります。当時、水道が使えるようになったということで、現在の組合の前身となる組合組織が昭和40年1月に設立されました。これはビッグチャンスでした。なんと言っても、周りでほとんど水がひかれていないので、仕事が次から次へと来るという、今考えると夢のような時代でした。

その後、中小企業等組合法という法律があり、法律に基づいて事業協同組合として昭和53年9月に埼玉県知事の認可を受けて正式に現在の組合が設立されました。当組合は正式な設立から今年で47年目を迎えます。当時の組合員数は33社でした。約半世紀が過ぎていく中で、事業継承ができなかったり等、諸般の事情により組合をやむなく辞めていく方々、逆に新たに組合に入ってくる方々で、現在は27社で構成されています。

当組合の主な仕事は、市民の生活を支える、もっとも重要なインフラの一つである上下水道の安定供給です。出て当たり前の水が、出なければいけないわけですが。水が供給されている時は誰も何も言いませんが、供給されなくなると連絡がきます。本日の卓話のタイトル「命をつなぐ水道は、私たちが守ります」という強い使命感のもとに24時間、365日、道路や宅地内で発生する、水道管の漏水事故に対応

した修繕体制を敷いております。365日ですので、年末年始も例外なく見守っているわけです。奇跡の9連休といわれた、昨年12月28日から今年1月5日までの9日間で、行った修繕は14件ありました。そのうち元日には3件、1月2日には4件の修繕工事を行いました。市民の皆さんはお正月、お屠蘇の飲んでほろ酔い気分の中に、作業着に着替え、穴掘って直しています。たいへんですが、水が供給されて喜ばれ、この苦勞を察していただくと組合員も達成感が得られうれしく思います。

具体的な修繕の体制は、JR高崎線を境にして市の西側と東側に分けています。西側の担当、東側の担当、それぞれ1日1社ずつ指定します。4月1日~3月31日まで1年分のスケジュールのローテーションをあらかじめ割り振って当番を決めています。当番となった会社が漏水の修繕工事を行います。仕事をしなくても当番の会社は1日待機をしています。仕事をしなくても、職人さんに給料を支払わなければならないし、会社の経費もかかるというわけで、仕事がないというのなかなか辛いところですが、一応それは職務として待機していただきます。もちろん待機に対して組合から当番会社に支払いをします。電話がかかってきて修繕が必要になると、当然道路を掘る工事を行うことになるのですが、必ず交通誘導員がいなければなりません。急な漏水に対して、交通誘導員をお願いしても、急には対応できないので、交通誘導員は年間契約で頼んでいます。1年分の経費を先にお支払いしているわけです。ですので漏水を先にお支払いは私どもの事務所で待機していただくというシステムを敷いています。

実際に修繕の依頼がきたら、単純にすぐ道路を掘るわけにはいかず、手順を踏まなければなりません。まず調査を作り、当番の会社に発注します。同様に市に届け出をします。いくら緊急だとはいえ、勝手に道路を掘ると犯罪になってしまうので、警察へ道路使用許可の通知をします。場所によっては交通誘導員の人数の手配をします。次に、道路にはガスや電気などの配管がある場合があるので、各企業に照会をします。またバス会社関係にも連絡をします。上尾の市道ならスムーズなのですが、県道や国道で漏水があると、市を通じて県や国に連絡をしなければなりません。そのような準備が整って、ようやく道路を掘りはじめられます。漏水の原因箇所はなかなかわからないんですね。水は地盤や道路の弱い

箇所からにじみでくるので、いくら経験を積んでも、ぴったりと漏水箇所はすぐにはわからないので、現在は漏水を調査する会社があって、お医者さんの聴診器のように道路で水の音を聴いたり、細いドリルで穴を開け漏水箇所を特定して、道路の舗装を切って修繕工事を開始します。

1軒の家の修繕でしたら比較的容易な工事ですが、連合管という太い管から枝分かれして複数の家に水を供給している場合は、漏水とは関係のない家にも断水の連絡をしなければならず、それに加えて工事で通行止めになる際の車の出入りなども調整して、汗水たらしながら修繕工事を行っています。往々にして、修繕工事では水道管に砂や泥がどうしても入ってしまうんですね。そのまま家庭に供給するとエコキュートなどの機械が故障してしまう怖れがあるので、工事が終わると家に供給する前に、水道メーターの前で水を出さなければならぬして砂や泥を吐き出し、それからメーターを元に戻すという、地道な作業を行います。最後にお客様に工事が終わった報告をして修繕が完了します。

参考までですが去年は道路上の修繕工事は591件ありました。1日平均1.6件ですので、今日もどこかで漏水の修繕工事をしていることになります。その他、宅地の中の修繕工事も加えると1401件となり、1日平均3.8件になります。1年のうちでいざ工事が多いのは、同じく1月です。人間の脳梗塞やヒートショックと併じて、水道管も寒いと悪くなります。ちなみに昨年12月は171件、1日平均5.7件ありました。1月は180件で、1日平均6件ありました。寒い時季の工事はたいへんで、夕方はやくに暗くなってライトも必要になりますし、水も冷たく水浸しになって、その割には手間が安くて嘆いています。

上尾市内の水道管は20ミリ(2センチ)の水道管を使っています。この水道管が切れてしまうと1時

間に約5トンの水が流出してしまいます。共同で使っている連合管が切れると1時間に50トンもの水が流出し、道路浸水が起きるほどです。漏水は水道管のひび割れ程度ですので、あくまで参考までのデータです。

また漏水はなかなか昼間におきず夜間における場合が多く、夜も当番制を敷いています。昨年、夜中に現地まで行ったのは62件で、そのうちの1/3は門崎会長も行かれているのではないかと思います。

ご家庭の水道メーターを境に、道路側については市の方で修繕を行います。宅地内については個人の責任で修理をしていただくこととなります。道路側で漏水が発見された場合は、管工事業協同組合内に設置されている漏水対策室で対応します。お問い合わせはフリーダイヤル0120-711-930です。夕方5時から翌朝8時半までであった通報に対して、よっぽどの緊急性がある場合を除き、まず現場の確認と安全対策を夜のうちにやり、実際の修繕工事は翌朝に行うような流れになっています。平日8時半から午後3時までの通報は、原則その日のうちに修繕工事を行います。このような修繕工事は、水道を使っている一般家庭へは経済的な負担はありません。このぶんの費用は上尾市の方に請求しています。まとめに、これからの水道業者さんは稼げないとやる人がいなくなるので、私の目標としては「組合に入って良かった」と言われるような組織にしたいと思います。本日はありがとうございました。



スマイル 内田様、卓話いただきありがとうございました。

門崎会長 結婚祝いの花束、ありがとうございました。
 長沼会員 先日、吉川先生にお会いしました。お元気でお忙しそうでした。
 齋藤哲雄幹事/大木崇寛副幹事/大家信郎会員/小林会員/尾花会員/
 大家崇行会員/齋藤重忠会員/久保田会員/藤村会員/宇多村会員/
 齋藤修弘会員/山崎会員/木田会員/原田会員

出席率	
会員数	33
出席免除	2
出席対象者	31
出席者数	16
51.61%	

